

キヤノンの価値創造プロセス

キヤノンは、企業理念「共生」のもと、創業以来受け継いできた企業DNAを生かし、事業活動を通じて、3つのマテリアリティを主軸とした取り組みを推進することにより、社会的・経済的な価値を生み出しています。

世界の動き

- 技術進化と効率向上
- 人口増加と高齢化
- 安心・安全ニーズの多様化
- 地域経済格差
- 社会・環境課題の顕在化
 - Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)
 - 気候変動
 - 資源制限
 - 持続可能なサプライチェーン

キヤノンのリソース

- 財務基盤
 - 売上高 3 兆 9,519 億円、純利益 2,528 億円
- グローバルな事業展開
 - 世界 50 以上の国と地域に 379 社
- 豊富な人材
 - 従業員数 195,056 人
- 高い技術力
 - 売上高研究開発費比率 8.0%
 - 米国特許登録件数 3,056 件

コーポレート・ガバナンス

企業理念：共生

グローバル優良企業グループ構想

フェーズⅠ 1996-2000

「全体最適」と「利益優先」への意識改革を図り、キャッシュフロー経営を徹底。事業の選択と集中、生産革新や開発革新など、数々の経営革新を始めました。

フェーズⅡ 2001-2005

「全主力事業世界No.1」を掲げて、時代の潮流となった製品のデジタル化を一気に推進し、競争力強化に努めながら、全世界のグループ会社の体質改善を進めました。

フェーズⅢ 2006-2010

現行事業の強化、新規事業拡大など、新たな成長への戦略を進める一方で、サプライチェーンマネジメントの徹底やIT革新を実行しました。

フェーズⅣ 2011-2015

規模の拡大を追求する経営方針の転換を図り、財務体質を強化するとともに、積極的にM&Aも実施しながら、将来の飛躍に向けた新たな成長エンジンとなる事業基盤の再構築を進めました。

キヤノンの企業DNA

- 人間尊重
- 技術優先
- 進取の気性

キヤノンの事業

- オフィスビジネスユニット
- イメージングシステムビジネスユニット
- メディカルシステムビジネスユニット
- 産業機器その他ビジネスユニット

マテリアリティ

- 新たな価値創造、社会課題の解決
- 地球環境の保護・保全
- 人と社会への配慮

社会的価値

経済的価値

よりよい社会の実現

キヤノンのDNA

キヤノンの事業

マテリアリティ

フェーズV 2016-2020 戦略的大転換を果たし、新たなる成長に挑戦する

- | | | | |
|--------------------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 1 原価率 45%を実現する
新生産システムの確立 | 2 新規事業の強化拡大と
将来事業の創出 | 3 市場の変化をとらえた
全世界販売網の再構築 | 4 オープンイノベーション
による研究開発力の強化 |
| 5 世界のダイナミズムを
取り込む世界三極体制の完成 | 6 地球儀を俯瞰して職務を
遂行するグローバル人材の育成 | 7 新たなる成長の原点となる
キヤノンスピリットの再強化 | |